

第6学年 特別の教科 道徳 学習指導案

1 主題構成表

主題名 働く人の思い

資料名 世界がおどろく七分間清掃（出典 光文書院）

<p>■内容項目 C—(14) 勤労公共の精神 働くことや社会に奉仕することの充実感を味わうと共に、その意義を理解し、公共のために役立つことをすること。</p>	<p>■価値の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 人は、支え合わないと生きていけない。また、所属する社会のために力を尽くして貢献することによって社会から認められる。 それが「生きがい」になり、よりよい自分であろう、よりよい社会をつくろうとする行動につながっていく。 このような心を支えているものの一つは、相手からの見返りや評価を求めない心である。 それは、物質的満足や評価要求などの欲望を超えた、人間ならだれしもがもっている心であり、これこそが社会奉仕の心である。 自分が相手のために何かできるのではないかと考えて行う活動が、結果として相手を喜ばせ、また、自分の生きる幅を広げるのである。 	<p>■資料の分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 本教材は、新幹線の清掃員の仕事ぶりを通して、働くことの意義について考え、その実践を促すことのできる教材である。 清掃員の仕事への思いを考えたり他者（ジョニー）の視点から、その仕事ぶりのすばらしさを考えたりすることで、働く喜びの源泉や、工夫して働くことのすばらしさを考えさせたい。 また、外国人からも賞賛される「時間に正確で創意工夫された仕事ぶり」を通して、日本人のもつ勤勉性や、仕事への真摯さも感じさせたい。 高学年の児童にとっての働くことの意義として「自分の属する集団や社会の目的に寄与し、そのことに喜びを感じるという社会的意義」「自分が人間的に成長することに喜びを感じるという人間的意義」の大きく二つが考えられる。 その仕事の意義を考えることを通して「今の自分に何ができるか」「自分にできること」を考えさせたい。
<p>■内容項目から見た児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童は6年生として学校のいろいろな場面でリーダーとして働く機会がある。しかし、まだ、与えられた仕事を責任をもってできる児童が少なく、言われてからしか行動できない児童もいる。 学級や全校のために何かしたいという意識を持っている児童もいるが全体的に弱い。また、何かしたいと思っても実践につながらない事が多い。 <p>■要因</p> <ul style="list-style-type: none"> どんなことが全校のためになるのか、自分の役割が全校にとってどんなよさがあるのかを理解している児童が少ない。そのため、自発的な行動が少ない。 全校のためになにかしたい、役立ちたいという思いはあるが、どのようにそれを表現するか分からなかったり、勇気がなく躊躇したりする傾向がある。 		
<p>■ねらい 働くことのよさや大切さを考えることを通して、自らも公共のために役立とうとする気持ちをもつことができる。</p>		
<p>■展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分たちがこれまで、いろいろな場面で学校や学級のために働いてきたことをふり返り、どんな気持ちで働いていたかを考える。 新幹線清掃の「世界にじまん」ができる場所は、どんなところかを考えさせる。 資料を読み、新幹線の清掃員の仕事ぶりを通して働くことの意義を話し合いながら考える。 これまでの自分の姿をふり返り、今日学んだことを活かして、どのように今後の活動に取り組んでいきたいかを書く。 修学旅行でお世話になった柏木さんの手紙を聞いて、どんな気持ちで働いているかを知る。 	<p>■基本発問（◎中心発問）</p> <p>○これまで、6年生としてどんな仕事にどんな気持ちで取り組んできましたか。</p> <p>○「世界にじまん」できる場所とは、どんなところでしょうか。</p> <p>◎清掃員さんたちは、どんな思いで仕事をしているのでしょうか。</p> <p>○残りの期間で、あなたはどんな気持ちで6年生としての仕事に取り組んでいきたいですか。</p>	

2 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>1. 価値への方向付けを行う。 これまでの自分の仕事への取り組みを振り返る。</p> <p>○ 6年生としてどんな仕事に、どんな気持ちで取り組んできましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝掃除。6年生だからやらなければならない。 ・なかよし班の班長。みんなが楽しくすごせるように。 	<ul style="list-style-type: none"> ・働くことに対する意識を考えさせることで、価値への方向付けをする。
展開	<p>2. 資料を読み、働くことの意義について考え、交流する。 ・共感するところ、みんなで考えたいところに線をひく。</p> <p>○ 「世界に自慢」ができるところは、どんなところでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掃除の始めと終わりに整列してえがおでおじぎをしている。 ・お客さんからごみを受け取る時に一人に一人にお礼を言っている。 ・たった7分間できれいに掃除している。 ・チームで協力して常によい方法はないかと工夫しながら仕事をしているところ。 ・お客様のために、ということを考えて取り組んでいるところ。 <p>◎ 清掃員さんたちは、どんな思いで仕事をしているのでしょうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>お客さんに喜んでもらえることが何よりの喜び。</u> ・きれいしにて、気持ちよく乗ってもらいたい。 ・思い出に残る旅にして欲しい。 ・決められた時間の中で必ず終わらせる。 <p>自分の仕事に誇りをもち、相手のことを考えて取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小学校の最高学年として誇りを持って取り組む。 ・“全校のみんなに喜んでもらえるように“取り組もうという気持ちをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見せ、清掃員たちの仕事ぶりから、客を第一に考えた仕事に対する思いを考えさせる。 <p>補助発問 「7分間くらいしかない」のに客に丁寧に接したり、掃除をしたりするのはどんな思いがあるからだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清掃員たちの行為は、自分たちの思いが表れているものであることを考えさせる。 <p>補助発問 自分たちの仕事に対する思いと、清掃員たちの思いは同じだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの考えを受容しながら、自分たちの仕事に対する気持ちに、立ち返らせる。
終末	<p>3. 今日の学習から考えたことをまとめ、交流する。</p> <p>○ 残りの期間で、あなたはどんな気持ちで6年生としての仕事に取り組んで行きたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全校のみんなに喜んでもらえるように、朝掃除にいてねいに組みたい。 ・下学年にあこがれてもらえるように、やりがいを感じ、誇りをもって委員会の仕事に取り組んでいきたい。 <p>4. ゲストティーチャーのインタビューを聞く。 添乗員として、お客さんに喜んでもらえるように工夫しながら頑張っている。お客さんに喜んでもらえる、やりがいを感じ、誇りを持つことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを活用し、自分の経験と今後の行動が書けるように支援する。 <p>書く時の視点 働くことの意義について理解し、自分も実践しようという気持ちをもつことができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事に対する思いを聞き、「働くことの意義」について板書にまとめる。

